

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東京成徳短期大学
設置者名	学校法人 東京成徳学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単位 数	配 置 困 難
		全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
幼児教育科	夜・ 通信			33	33	7	
(備考) 2019年度入学者向けカリキュラム							

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/common/2019/2019_y.pdf">http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/common/2019/2019_y.pdf</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 なし。
(困難である理由)

## 様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京成徳短期大学
設置者名	学校法人 東京成徳学園

### ○理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.tokyoseitoku.ac.jp/outline/index.html#outline02>

## 2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	日本大学大学院教授	2019.5.31～ 2022.5.30	ガバナンス改革
非常勤	赤城印刷株式会社 代表取締役	2019.5.31～ 2022.5.30	ガバナンス改革
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京成徳短期大学
設置者名	学校法人 東京成徳学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各年度開講授業のシラバス作成は前年度3月末に公表できるように、学務部から、各授業担当教員へ向けて、12月上旬に作成依頼をしている。</p> <p>依頼時には、特に、授業内容・方法、ディプロマポリシーと当該授業との関連、到達目標、授業計画表、成績基準と評価方法、実務経験のある教員等の授業(実践的授業含む)であること、事前事後学修を促す内容、アクティブラーニングの実施、ICTの活用などの明示を促している。</p> <p>また、作成にあたって、専任教員には、2018年度からシラバスの作成方法に関するFDを実施するとともに、非常勤講師には、「シラバス記入要領」の書面を通して、改善・理解を深める機会を設けている。</p> <p>さらに、完成までには、第三者による、「シラバスチェック」を実施し、適切なシラバスづくりに努めている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p><a href="https://www2.tsu-web.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx">https://www2.tsu-web.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx</a></p> <p>※シラバス検索画面において「対象学科」に閲覧希望の学科名「幼児教育科」と入力して検索してください。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定当たっては、「学則」第26条並びに「授業の成績評価のアセスメント方針」に則り、各授業科目の到達目標に照らし、試験、レポートなどの成績評価方法により学習成果、学習到達度を判定し、単位認定を行っている。</p> <p>成績評価については、科目内の成績評価の割合をS・Aは45%以内、うち、Sは15%以内に設定することや、各科目のGP(グレード・ポイント)平均値が1.80から3.00の範囲に分布するように教員に求めている。</p> <p>学生に対しては、各科目のGP、及び学期末の累計GPA(グレード・ポイント・アベレージ)が2.00以上になるよう学修成果向上を奨励している。</p> <p>また、学期末の累計GPAが1.00未満の学生に対しては、『特別アドバイス』制度により「学業経過観察期間」を設け、必要に応じて「厳重注意」を行い、それでも学修成果が向上しない場合は学長が退学勧告を行うなど、厳格かつ適正な指導及び単位認定を行っている。</p> <p>成績評価方法・基準や各制度の学生向け周知については、学生便覧への記載やオリエンテーション時にも説明し、不明な点は教務課に尋ねるよう周知している。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学では客観的な指標として GPA 制度を設け、履修規程に以下のとおり規定し運用している。

また、これを用いて、学生が所属学科・学年のどの位置にあるかを把握できよう、成績の分布データ資料を学科・学年ごとに集計・作成し、算出方法ともども大学ホームページで公表している。

【GPA 分布】

[http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/j-kyomu/2019/gpa/2018\\_3gpay.pdf](http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/j-kyomu/2019/gpa/2018_3gpay.pdf)

●履修規程関係部分抜粋

(成績評価)

評価	区分	評点	GP	評価基準の記述
S	合格	90～100	4.0	当該科目の目的・内容をほぼ完全に修得し応用力が身についたと認められる
A		80～89	3.0	当該科目の目的・内容を十分に理解し修得したと認められる
B		70～79	2.0	当該科目の目的・内容をほぼ十分に理解したと認められる
C		60～69	1.0	当該科目の目的・内容の最低限の理解は得られたと認められる
D	不合格	0～59	0.0	当該科目の目的・内容の理解に及ばない

\*GP (グレード・ポイント) は「各評価段階の得点」を示す。

注1 他の大学・短期大学で修得した単位認定などの評価は「認定」とし、GPA に算入しない。

注2 履修登録した科目について、定められた期間内に「履修取り消し」の手続きをとらず履修放棄した場合はD評価 (不合格) とする。

注3 定期試験欠席者や再試験対象者への暫定的な評価について、所定の試験欠席事由により届出し、追試験実施対象となった場合は「追」、再試験対象者となった場合は「再」と表記する。

注4 前項での最終評価は、追試験受験者は上表のいずれか、再試験受験者の評価は「B」、「C」、「D」のいずれかとする。

(GPA (グレード・ポイント・アベレージ) の算出方法)

学生の学業成績を測る基準として、GPA 制度を採用し、その計算方法は以下のとおりとする。

$$GPA = \frac{(S \text{ の単位数} \times 4) + (A \text{ の単位数} \times 3) + (B \text{ の単位数} \times 2) + (C \text{ の単位数} \times 1)}{\text{履修登録科目総単位数}}$$

\*小数点第3位以下四捨五入

\*分母の総単位数には、不合格科目 (評価が「D」) の単位数を含む。

\*累計 GPA は、入学後に履修した総ての科目についての GPA を表示する。

\*不合格科目となった授業科目を再履修した場合、以前不合格となった授業科目は累計 GPA 値算出対象外とする。

客観的な指標の算出方法の公表方法

客観的な指標の算出方法の公表方法については、本学ホームページの情報公表のページ内に公表している。また同ページ内に履修規程を公表し、客観的な指標の算出方法を規定して

	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価基準・GPA（グレード・ポイント・アベレージ）の算出方法  <a href="http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/topics-img/kyomu/2019/G・P・A.pdf">http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/topics-img/kyomu/2019/G・P・A.pdf</a></li> <li>・履修規程  <a href="http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/j-kyomu/2019/risyuukitei/2019yrisyuukitei.pdf">http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/j-kyomu/2019/risyuukitei/2019yrisyuukitei.pdf</a></li> </ul>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学は、教育目標を達成するために、卒業認定方針（ディプロマポリシー）を策定している。</p> <p>「ディプロマポリシー」</p> <p>本学では、建学の精神・教育理念に即し、かつ所定の単位を修得した学生に、卒業が認定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの教育や保育について、専門的知識と研究する力を備えた学生。</li> <li>・社会のニーズに対応できる教養と社会性を備え、教育、保育実践力を発揮できる学生。</li> <li>・資質の高い専門家としての人格を備え、求められる役割を理解し、最大限に努力することができる学生。</li> </ul> <p>学位授与の方針の策定については学校教育法施行規則の一部を改正する省令（平成28年文部科学省令第16号）『「卒業認定・学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」及び「入学者受入れの方針」の策定及び運用に関するガイドライン』等を踏まえ策定されている。</p> <p>公表は大学ホームページ、大学案内などを通じて行っている。また、学生向けには3つの方針を載せた学生便覧を新入生全員に配布している。</p> <p>本学の卒業要件は、「学則」第31条で規定されているとおり、2年以上在学し、第23条の規定に基づく授業科目を履修して62単位以上を修得することとなっている。</p> <p>各授業科目の単位認定については、前述2で示したとおり、「授業の成績評価のアセスメント方針」に則り、「到達目標」に照らし試験、レポートなどの成績評価方法により学習成果、学習到達度を判定し、単位認定を行っている。</p> <p>卒業にあたってはこれらを踏まえ、卒業要件を満たした者に対して卒業判定会議の意見を聴いて、学長が卒業認定を行っている。</p> <p>尚、学位授与の方針（ディプロマポリシー）に示された学生に身につけさせたい知識・技能・能力について各授業科目がどのような関連性を持って構成されているかを「授業構成及び結果の評価票」において検証している。</p>	
<p>卒業の認定に関する          方針の公表方法</p>	<p><a href="http://www.tsu.ac.jp/guide/information/tabid/348/Default.aspx">http://www.tsu.ac.jp/guide/information/tabid/348/Default.aspx</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の開示(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東京成徳短期大学
設置者名	学校法人 東京成徳学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	開示方法
貸借対照表	<a href="http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/common/情報公表/2019_11-01-02.pdf">http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/common/情報公表/2019_11-01-02.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/common/情報公表/2019_11-01-02.pdf">http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/common/情報公表/2019_11-01-02.pdf</a>
財産目録	<a href="http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/common/情報公表/2019_11-01-02.pdf">http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/common/情報公表/2019_11-01-02.pdf</a>
事業報告書	<a href="http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/common/情報公表/2019_11-01-01.pdf">http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/common/情報公表/2019_11-01-01.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/common/情報公表/2019_11-01-02.pdf">http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/common/情報公表/2019_11-01-02.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

<a href="http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/j-somu/2019/自己点検・評価報告書 H29年度.pdf">http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/j-somu/2019/自己点検・評価報告書 H29年度.pdf</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

<a href="http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/j-somu/2015/自己点検報告書/(1)東京成徳短期大学_機関別評価結果.pdf">http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/j-somu/2015/自己点検報告書/(1)東京成徳短期大学_機関別評価結果.pdf</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 幼児教育科
<p>教育研究上の目的 (公表方法：<a href="http://www.tsu.ac.jp/guide/information/tabid/882/Default.aspx">http://www.tsu.ac.jp/guide/information/tabid/882/Default.aspx</a>)</p> <p>(概要) 本学は、教育基本法並びに学校教育法の精神にしたがい、次代の国民形成に大きな役割を担うものに対し、広く知識を授けるとともに学芸・技能の専門教育を施し、人格の完成をはかり、社会に有為な高い教養人及び職能人を育成し、もって社会に貢献することを目的とする。(東京成徳短期大学学則 第 1 条)</p> <p>「幼児教育科」 就学前の子どもの教育や保育についての専門教育と研究を行い、教育・保育実践力の向上と一人ひとりの個性を伸ばして、社会のニーズに応えられる資質の高い幼稚園教諭、及び保育士の養成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：<a href="http://www.tsu.ac.jp/guide/information/tabid/348/Default.aspx">http://www.tsu.ac.jp/guide/information/tabid/348/Default.aspx</a>)</p> <p>(概要) 本学では、建学の精神・教育理念に即し、2 年以上在学し、かつ所定の単位を修得した学生に、卒業が認定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの教育や保育について、専門的知識と研究する力を備えた学生。</li> <li>・社会のニーズに対応できる教養と社会性を備え、教育、保育実践力を発揮できる学生。</li> <li>・資質の高い専門家としての人格を備え、求められる役割を理解し、最大限に努力することができる学生。</li> </ul>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：<a href="http://www.tsu.ac.jp/guide/information/tabid/348/Default.aspx">http://www.tsu.ac.jp/guide/information/tabid/348/Default.aspx</a>)</p> <p>(概要) 本学では、建学の精神・教育理念に即した学生を養成することを基本とし、科の目的である社会のニーズに応えられる資質の高い幼稚園教諭、及び保育士の育成を行うため、以下のような方針に基づいてカリキュラム(教育課程)を編成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな専門的知識と研究意欲を育てるカリキュラムを設定します。</li> <li>・保育の実践力と即応力を育てるカリキュラムを設定します。</li> <li>・豊かな人間性と社会性を育てるカリキュラムを設定します。</li> <li>・個々の学生の得意な分野を伸ばし、魅力ある保育者を育てるカリキュラムを設定します。</li> </ul>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：<a href="http://www.tsu.ac.jp/guide/information/tabid/348/Default.aspx">http://www.tsu.ac.jp/guide/information/tabid/348/Default.aspx</a>)</p> <p>(概要) 幼児教育科は、子どもの心の理解を基本に幼児教育・保育の現場で活躍できる人材の育成を目指し、次のような人を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 真摯な心を持ち、コミュニケーションを大切にすること</li> <li>2. 深い洞察と柔軟な考えを持ち、実践的・協働的に行動すること</li> <li>3. 学ぶ姿勢と意欲を持ち、創意工夫を重ね、なにごとも積極的に取り組むこと</li> <li>4. 保育者になるための資質と適性を備え、子どもの成長に関わりたいたいと思うこと</li> <li>5. 子どもを取り巻く今日的課題に広範な関心を持ち、解決に向けて新しい可能性を探求したいこと</li> </ol>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.tsu.ac.jp/guide/information/tabid/344/Default.aspx>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1人	－					1人
幼児教育科	－	9人	7人	0人	0人	0人	16人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
「該当なし」人				59人			59人
各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）				公表方法： <a href="http://www.tsu.ac.jp/guide/disclose/education/tabid/763/Default.aspx">http://www.tsu.ac.jp/guide/disclose/education/tabid/763/Default.aspx</a>			
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>FD活動については、学務部会の教育開発研究専門委員会（以下「FD委員会」と言う）が推進し、「東京成徳短期大学教育開発研究専門委員会規程」に基づき、FD委員会を設置し、教務課職員と連携して全教員によるFD活動を実施している。なお、東京成徳短期大学学務部規程第2条に「学務部は、事務局関係各課と連携協力して、学生の修学及び教育開発研究等に関する業務を行う。」と規定している。</p> <p>毎年度、学務部のFD担当と情報ネットワーク委員会との共催で教職員対象のICT研修会が開催されており、全教職員が参加できるようになっている。この研修会については、教職員へのアンケート調査などをもとに教職員が今知りたい情報技能内容の選定が行われており、研修会で学んだ技能が活用されることで教育研究の促進につながるテーマが設定されている。</p> <p>また、「学生による授業アンケート」を毎年実施している。授業アンケートの内容はグラフ等に整理されて担当教員のもとにフィードバックされるほか、自由記述の全てが匿名性を維持した形で教員の手元に届くため、教員は担当する授業に関する学生の生の声を受け取り、授業に反映することができるよう自主的な改善を促す仕組みになっている。FD活動の一端として、これらのフィードバック情報をもとに担当教員が各自で振り返り及び改善計画を記した内容は、CD-ROMにまとめて全専任教員に配布され、共有を図り、継続的に授業改善を行うことができるシステムを構築している。加えて、学務部のFD担当を中心にした教職員と全クラスから選出された学生代表との座談会を実施し、授業アンケートの結果及び授業改善計画を学生に公表している。学生代表との座談会では、直接学生の意見を聴き取るとともに、本短期大学の学習のあり方や取り組みについて教員からも説明を行い、学生と教員との双方向型の授業改善の取り組みを行っている。</p> <p>さらに、昨年度より全学的な「東京成徳大学・東京成徳短期大学SD・FD実施の方針と計画」が策定され、「東京成徳大学・東京成徳短期大学は、建学の精神、教育理念に基づき、その使命を果たすために、高等教育を取り巻く環境の変化や高度化・複雑化していく学校課題や教育課題に適切に対応していくことのできる教職員組織を作り上げなければならない。そこで、「求める教職員像」を明確にして、大学運営や教育の質保証に必要な資質・能力を向上させるための研修を実施し、教職員一人ひとりと組織とを育成していく。」ことを実施方針として掲げ、年4回程度、全教職員を対象とした研修を実施している。</p>							



④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
幼児教育科	180人	186人	103%	360人	376人	104%	0人	0人
合計	180人	186人	103%	360人	376人	104%	0人	0人
(備考) ・2019年度入学者 ・「編入学定員」及び「編入学者数」については該当なし。								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
幼児教育科	155人 (100%)	1人 (0.6%)	148人 (95.5%)	6人 (3.9%)
合計	155人 (100%)	1人 (0.6%)	148人 (95.5%)	6人 (3.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 幼稚園(私立)、保育園(公立・私立)、KCJ GROUP(株)、ラルフローレン(株)、(医)ヘブロン会 大宮中央総合病院、(株)羽田エアポートエンタープライズ				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>各年度開講授業のシラバス作成は前年度3月末に公表できるように、学務部から、各授業担当教員へ向けて、12月上旬に作成依頼をしている。</p> <p>依頼時には、特に、授業内容・方法、ディプロマポリシーと当該授業との関連、到達目標、授業計画表、成績基準と評価方法、実務経験のある教員等の授業(実践的授業含む)であること、事前事後学修を促す内容、アクティブラーニングの実施、ICTの活用などの明示を促している。</p> <p>また、作成にあたって、専任教員には、2018年度からシラバスの作成方法に関するFDを実施するとともに、非常勤講師には、「シラバス記入要領」の書面を通して、改善・理解を深める機会を設けている。</p> <p>さらに、完成までには、第三者による、「シラバスチェック」を実施し、適切なシラバスづくりに努めている。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)  
 学修の成果に係る評価は、「学則」第 27 並びに「授業の成績評価のアセスメント方針」に則り、各授業科目の到達目標に照らし、試験、レポートなどの成績評価方法により学習成果、学習到達度を判定し、単位認定を行っている。  
 成績評価については、科目内の成績評価の割合を S・A は 45%以内、うち、S は 15%以内に設定することや、各科目の GP (グレード・ポイント) 平均値が 1.80 から 3.00 の範囲に分布するように教員に求めている。  
 学生に対しては、各科目の GP、及び学期末の累計 GPA (グレード・ポイント・アベレージ) が 2.00 以上になるよう学修成果向上を奨励している。  
 また、学期末の累計 GPA が 1.00 未満の学生に対しては、『特別アドバイス』制度により「学業経過観察期間」を設け、必要に応じて「厳重注意」を行い、それでも学修成果が向上しない場合は学長が退学勧告を行うなど、厳格かつ適正な指導及び単位認定を行っている。  
 成績評価方法・基準や各制度の学生向け周知については、学生便覧への記載やオリエンテーション時にも説明し、不明な点は教務課に尋ねるよう周知している。  
 本学の卒業要件は、「学則」第 31 条で規定されているとおり、2 年以上在学し、第 23 条の規定に基づく授業科目を履修して 62 単位以上を修得することとなっている。  
 卒業にあたってはこれらを踏まえ、卒業要件を満たした者に対して卒業判定会議の意見を聴いて、学長が卒業認定を行っている。  
 尚、学位授与の方針 (ディプロマポリシー) に示された学生に身につけさせたい知識・技能・能力について各授業科目がどのような関連性を持って構成されているかを「授業構成及び結果の評価票」において検証している。

学部等名	卒業に必要となる 単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
幼児教育科	62 単位	有	48 単位
GPA の活用状況 (任意記載事項)	公表方法：本学では、成績不振者に対して、GPA を目安とする「特別アドバイス制度」及び、成績不振の状態を改善するための「学業経過観察制度」を履修規程において定め、その指導の指標として GPA を活用している。 <a href="http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/j-kyomu/2019/risyuukitei/2019risyuukitei.pdf">http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/j-kyomu/2019/risyuukitei/2019risyuukitei.pdf</a>		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法： 資格取得状況 <a href="http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/common/情報公表/2018_05-01-16.pdf">http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/common/情報公表/2018_05-01-16.pdf</a>		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：  
<http://www.tsu.ac.jp/juken/access/tabid/258/Default.aspx>  
[http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/common/情報公表/2018\\_06-01-01.pdf](http://www.tsu.ac.jp/Portals/0/site-img/common/情報公表/2018_06-01-01.pdf)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

1年次

学部等名	授業料 (年間)	入学料	その他	備考(任意記載事項)
幼児教育科	770,000円	300,000円	265,000円	その他内訳(特別教育費+施設設備費) 教育実習および保育実習などに参加する場合は別途徴収

2年次

学部等名	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
幼児教育科	770,000円	220,000円	その他内訳(特別教育費+施設設備費) 教育実習および保育実習などに参加する場合は別途徴収

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組の概要

学生の修学に係る支援については、クラス担任制及びオフィスアワー制度を設け、教員が学生の修学・生活相談に応ずる体制をとっている。

また、経済的支援については、経済的理由及び東日本大震災により、就学及び卒業が困難な学生に対する学納金の減免を行っている。さらに、保護者が学費等を日本政策金融公庫から、国の教育ローンで借り入れて納めた場合、その利息相当額を在学中の2年間に限り大学が支給している。

b. 進路選択に係る支援に関する取組の概要

本科には保育職を目指す学生が入学しているが、様々な事情により一般職や進学を希望する学生、進路選択に悩む学生に対しては、クラス担任やキャリアカウンセラー有資格者による個別の相談を行っている。

保育職を目指す学生に対しては、1年次後期から2年次後期にかけて、ビジネスマナー、履歴書・論作文の書き方、面接指導や卒業生による就職活動体験談等の講話を行っている。又、学生の多様な進路選択を支援するために以下の組織変更及び施策を講じている。

- ・2013年より全学的かつ組織的な就職支援を行うことを目的とした「就職支援センター」を設置。
- ・2019年より就職支援を充実させるために「キャリア支援課」を設置。
- ・2019年より公務員試験対策講座を拡充。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組の概要

保健管理センターに学生相談室と保健室を設置している。学生相談室では、教職員と連携し在学中に起こる様々な問題や悩みについて、専門のカウンセラーに相談できる体制が整っている。また、保健室では病気や怪我の応急処置、健康診断の結果に基づいた健康指導等を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

<http://www.tsu.ac.jp/guide/disclose/education/tabid/356/guide/disclose/education/tabid/885/Default.aspx>